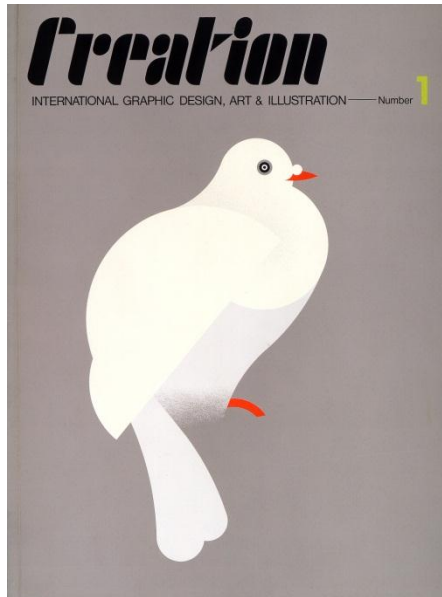


# 生誕100年 亀倉雄策と『クリエイション』

100th Anniversary of Kamekura Yusaku : “Creation” and his Viewpoint



『クリエイション』1号表紙 1989年 リクルート発行

## | 展覧会概要 |

亀倉雄策のデザイン哲学にふれる——。  
亀倉が責任編集をつとめたデザイン誌『クリエイション』の世界。

東京オリンピックのポスターや NTT のマークなど、数々の傑作を手がけた新潟県燕市出身のグラフィックデザイナー亀倉雄策（1915-1997）。一方、日本宣伝美術会や日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）の設立に参加するなど、日本のグラフィックデザイン史を最前線で牽引してきました。

彼が晩年のライフワークとしたのが、デザイン誌『クリエイション』の編集です。グラフィックデザイナー、イラストレーターをはじめ様々なアーティストの作品を、亀倉独自の視点で取り上げた『クリエイション』は、創刊号より全 20 号で終了することを宣言、季刊誌として 1989 年より 5 年間にわたってリクルートより発行されました。作家や作品のピックアップから誌面構成に至る行程全てが、亀倉自身の手によって行われ、密度ある緊張感あふれた画面が全号を貫いています。

本展では、『クリエイション』誌上で取り上げられた作家たちの魅力を伝えるとともに、原稿やラフスケッチなどの関連資料も併せて展示し、亀倉のデザイン観や本誌にかける想いを探ります。

## | 基本情報 |

会 期： 2015年11月14日(土)～2016年1月17日(日) 実質46日間

休 館 日： 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、年末年始(12/28-1/4)

※会期中、一部展示替えあり

会 場： 新潟県立近代美術館 企画展示室

開館時間： 午前9時～午後5時(観覧券の販売は午後4時30分まで)

観 覧 料： **当日券** 一般 1,000円(800円) 大学・高校生 800円(600円) 中学生以下無料

※( )内は有料20名様以上の団体料金

※障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は無料です

**前売券** 一般 800円 大学・高校生 600円 11月13日(金)まで販売

NIC新潟日報販売店、県内プレイガイド、近代美術館・万代島美術館ミュージアムショップほか

主 催： 新潟県立近代美術館、新潟日报社

協 力： 株式会社リクルートホールディングス クリエイションギャラリーG8、N S T、  
新潟県立美術館友の会

後 援： 公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)、長岡市、  
長岡市教育委員会、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、TeNYテレビ新潟、  
UX新潟テレビ21、ケーブルテレビのエヌ・シー・ティ、  
エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0



『クリエイション』1～20号 1989-1993年 リクルート発行

## | 展覧会のみどころ |

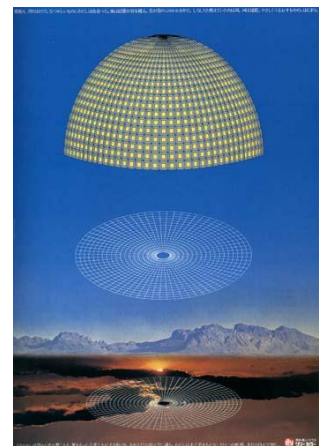
### 1. 亀倉雄策が選んだ、古今東西あらゆる作家たちによる作品の競演。

「古くても新しくてもいいものはいい。デザインの本道でも、脇道でも、路地でもいい。有名も無名もない。優れた才能と芸術家としての力量を重視するだけである」——、と亀倉は創刊号のまえがきで『クリエイション』の編集方針について述べています。クリエイション全20号には、日本の作家をはじめ、アメリカ、ポーランド、スイス、イタリアなど様々な国と地域の作家の作品が取り上げられています。グラフィックデザイン、油彩、イラストレーション、陶磁器、とジャンルは多岐に及びますが、そこには亀倉のデザイン観が貫かれており、どの作家の作品も瑞々しい魅力を放っています。

本展では掲載作家の中から約80名の作家の作品を一堂に紹介いたします。個性あふれる作家たちの魅力を伝えるとともに、亀倉のデザイン観に触れる貴重な機会となるでしょう。



ヘンリク・トマシェフスキ  
《第13回ワルシャワポスタービエンナーレ》  
1990年 富山県立近代美術館蔵



永井一正  
《リリーカラー》  
1989年 富山県立近代美術館蔵

### 2. 『クリエイション』制作にまつわる関連資料を紹介します。

掲載作家や作品選出、ページの構成などすべてが亀倉自身の手によって行われた『クリエイション』ですが、「Creation」ロゴの試作、各作家ページの構成を記した台割や、カラーコピーで作られたカンパなど、制作に関わる数々の資料が残されています。亀倉の入念な構想と、隅々まで行き届いた設計を伝える、これらの貴重な資料を紹介します。



ロゴ試作「Creation」



校正(14号 ジョヴァンニ・ピントーリ)

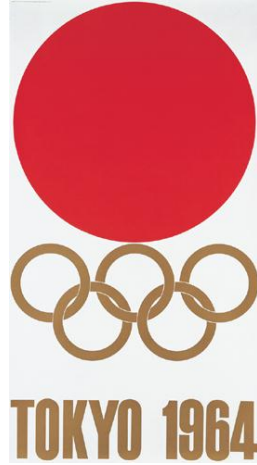
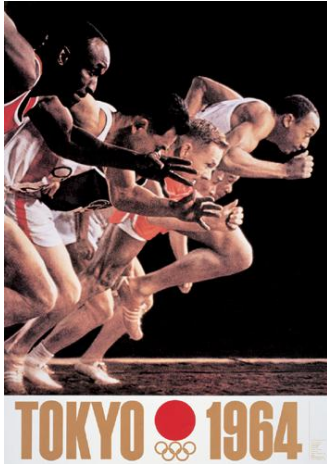


台割 (9号 ポール・ディヴィス)

所蔵表記のないものは全て  
新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵

### 3. 色あせない生命力——。亀倉雄策の代表作を紹介。

編集者としての客観性を保ちたいという意向から、亀倉自身の作品は『クリエイション』に収録されませんでした。没後に発行された追悼号『クリエイション』21号において、彼の業績がまとめられました。その中から《東京オリンピックポスター》をはじめとする彼の代表作約20点をあわせて紹介します。時代を超える生命力を持ったデザインを、誌上で紹介することに意をそそいだ亀倉ですが、彼の作品も同じく輝きを放ち続けています。



左 亀倉雄策《東京オリンピック公式ポスター第2号》1962年 フォトディレクション＝村越襄、写真＝早崎治  
中 亀倉雄策《東京オリンピック公式ポスター第1号》1961年  
右 亀倉雄策《東京オリンピック公式ポスター第3号》1963年 フォトディレクション＝村越襄、写真＝早崎治

所蔵表記のないものは全て  
新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵

展示作品・資料数：約310点

## | 展覧会構成 |

### 1. 『クリエイション』誕生

#### 1-1 亀倉雄策とリクルート

…『クリエイション』の発行を後押ししたのは、亀倉と古くより交流のあったリクルート社の存在でした。亀倉が手がけたリクルート社のロゴマークをはじめ、亀倉とリクルートの関わりを知ることができる作品を紹介します。

### 2. クリエイションの作家たち

#### 2-1 第1号創刊

#### 2-2 巨匠シリーズ

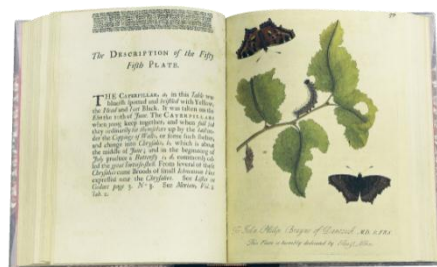
#### 2-3 グラフィックデザイン

#### 2-4 アートアンドイラストレーション

2-5 幻の20号、人生の階段

2-6 編集者の視点

…田中一光の《ヒロシマアピールズ》を表紙とした第1号は1989年6月に創刊されました。以降様々な地域やジャンルの作家を紹介する中で、ポール・ランドやジョヴァンニ・ピントーリなど亀倉の考えるデザイン界の巨匠たちを取り上げた「巨匠シリーズ」や、日本の紋章や18世紀の昆虫図鑑など亀倉独自の視点を紹介する「編集者の視点」といったコーナーも展開されました。ここでは、これら誌上で紹介された様々な作家の作品を中心に紹介します。



エレザー・アービン『英国昆虫の自然史』1724年

[主な出品作家] 田中一光、早川良雄、永井一正、福田繁雄、スタシス・エイドリゲヴィチウス、ポール・ランド、ジョヴァンニ・ピントーリ、ヨゼフ＝ミューラー・ブロックマン、ポール・デイヴィス、ヤン・ムウオドゼニツ、ヴァルデマル・シュヴェイエジ、ロゼリン・デリール、石元泰博、野又穰、土橋とし子、クヴィエタ・パツオウスカー、パブロ・ピカソ…など。

### 3. 21号、追悼・亀倉雄策

…自身の作品に対しては客観的になることができないという理由で、亀倉の作品は『クリエイション』に掲載されることはありませんでした。亀倉の没後、追悼の意を込めて、亀倉雄策特集号『クリエイション』21号が、田中一光、永井一正、福田繁雄の監修のもと発行されます。この最後の区画では、21号誌上で取り上げられた亀倉の代表作を紹介します。

## | 会期中のイベント |

トークイベント 講堂 [無料] 申込不要・先着165名

### 「亀倉雄策と『クリエイション』」

■11月14日(土) 14:00~15:30 (開場 13:30)

ゲスト：大迫修三氏(公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会事務局長)

聞き手：伊澤朋美(当館主任学芸員)

美術鑑賞講座 講堂 [無料] 申込不要・先着165名

### 「デザインって何？」

■11月21日(土) 14:00~15:30 (開場 13:30)

講師：藤田裕彦(当館学芸課長)

企画展ギャラリートーク 企画展示室 [無料] 申込不要 ※要当日観覧券

■11月29日(日)、12月13日(日)、2016年1月16日(日) 各日14:00~

映画鑑賞会 講堂 [無料] 申込不要・先着 165 名

「アンダルシアの犬」 (1928 年・16 分)

■12 月 12 日 (土) 14:00～/15:00～

特別上映会 講堂 [無料] 申込不要・先着 165 名

※協力：毎日新聞社

生誕 100 年記念シンポジウム「亀倉雄策のデザイン 未来に向けて」

■2015 年 12 月 6 日 (日)、2016 年 1 月 16 日 (土) 各日 13:00～

9 月 8 日に TOKYO FM ホールで行われた、毎日新聞社主催のシンポジウムの様子を上映します。

## | 共催展 |

磯野宏夫展 ー生命の森ー 当館 2F ギャラリー [入場無料]

愛知県出身の磯野宏夫が生涯を通して描き続けた世界の熱帯雨林の作品約 50 点を紹介。『クリエイション』15 号掲載作家。

■12 月 22 日 (火) ～2016 年 1 月 17 日 (日) 9:00～17:00

### 〈講演会 熱帯雨林 生命の森〉

植物学者 湯本貴和氏 (京都大学霊長類研究所教授) から観た熱帯雨林の作品の魅力と熱帯雨林の生きものたち

■2016 年 1 月 10 日 (日) 13:00～15:00

対談：湯本貴和氏、ゲスト：服部眞幸氏 (東京農工大学大学院 連合農学研究科 雑草生物学)

当館講堂 / 参加費無料 / 申込不要

## | 交通案内 |

### ■バス

JR 長岡駅大手口 8 番線乗り場より「中央循環バス内回り」で「県立近代美術館」下車  
(20～25 分間隔、乗車時間 15 分)

### ■自動車

関越自動車道長岡 IC から国道 8 号線新潟方面に進み、蓮潟交差点右折。千秋が原ふるさとの森内。新潟方面からは、国道 8 号線長岡大橋で信濃川を通過後、すぐ左折進入路に入る。無料駐車場あり (165 台)

## | 連絡先 (展覧会担当) |

新潟県立近代美術館 学芸課 伊澤朋美、藤田裕彦、澤田佳三、松本美樹

〒940-2083 新潟県長岡市千秋 3-278-14

TEL 0258-28-4111 FAX 0258-28-4115 URL : <http://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

E-MAIL : [kinbi@coral.ocn.ne.jp](mailto:kinbi@coral.ocn.ne.jp)